

様式 5

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症に係る事業継続支援事業費補助金	開始年度	令和元年度
団体名	児童福祉施設等	団体等の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
※対象が個人の場合は ☒ 不要			
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症に係る事業継続支援事業費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	対象施設：児童福祉施設等 補助基準額：1施設当たり300千円～1000千円以内 補助内容：新型コロナウイルス感染防止用の備品購入等
目 的	(目 的) 児童福祉施設等において新型コロナウイルス感染症対策として、職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施すること。
・ 効 果	(効 果) 必要物品等の経費に対する補助を行うことで、児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策の徹底および業務の継続的な実施が可能となる。

○補助事業の収支状況

※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

収 入	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
	R2 (決算)	128,126 [128,126]						128,126 [128,126]
	R3 (決算)	60,870 [60,870]						60,870 [60,870]
	R4 (決算)	80,413 [80,413]						80,413 [80,413]
	R5 (決算)	5,839 [5,839]						5,839 [5,839]
支 出	R6 (廃止)							0 □
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体負担金等			計
	R2 (決算)				128,126 [128,126]			128,126 [128,126]
	R3 (決算)				60,870 [60,870]			60,870 [60,870]
	R4 (決算)				80,413 [80,413]			80,413 [80,413]
	R5 (決算)				5,839 [5,839]			5,839 [5,839]
	R6 (廃止)							0 □

※1 補助事業にかかる決算確定後(実績報告時等)速やかに更新 ※2 予算内示後速やかに更新

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症に係る事業継続支援事業費補助金
----------------	------------------------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐	本事業の対象となる児童福祉施設は保育所等の子育て支援の拠点として重要な役割を担う施設であり、感染症対策の徹底や継続的なサービスの提供は市民が強く求めるところである。必要経費の支援により実施体制の確保を目的とする本事業は公益性があるものといえる。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☐	☐	保育所等において、感染症対策のための物品等を自費で購入することは大きな負担となるため、継続的なサービスの提供のためには市の補助が必要であると思われる。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☐	☐	本補助金は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、その対策のために必要な経費を補助するものであり、施設に自主自立を求めるという点には合致しないと考えられる。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☐	☐	保育所等において、感染症対策の実施およびサービスの提供にあたり、消耗品、備品等が必要となるため、その購入にかかる費用を補助金で補填することは本事業の目的実現のために有効であると考えられる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	国の基準に基づき、対象経費の総額と基準額の比較により少ない額で補助を行っている。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	各事業者の感染症対策実施による経費負担を、一定の金額までであれば全額補助するものであり、その場合において自主財源の確保は求めている。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	感染症対策のための補助であり、経常経費は対象としていない。

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

様式 5

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策事業費補助金
----------------	-------------------------------------

補助金の見直しについて

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
必要物品等の経費に対する補助を行うことで, 児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策の徹底および業務の継続的な実施が可能となった。
(達成状況)
児童福祉施設等を対象に下記の通り補助を行った。 令和3年度 60,870千円 令和4年度 80,413千円 令和5年度 5,839千円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐	
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容※現行のまま継続の場合もその理由を記載)
☐ 見直したうえで補助を継続	
☒ 廃止	
☐ その他	
(見直しの時期) 令和5年度	

(廃止の理由) 令和5年度中に, 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い, 補助事業を廃止する	(その他の内容)
(廃止の時期) 令和5年度末	

○終期の設定

※3年間を目途とした終期を設定し, 終期到来年度には必ず見直しを検討すること

終期設定	☒ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和5年度	☐ 終期到来時に再検討	令和 年度

1 見直しの視点

見直しの視点	見直しの具体的な内容
1 補助目的の効果が達せられたもの	令和5年度予算から廃止
2 社会情勢の変化等により 現在の実情にそぐわないもの	制度を見直し, 廃止または削減 (段階的削減を含む)
3 事業内容の見直し	補助事業の内容の見直しにより削減
4 終期を設定し, 補助しているもの	終期期限において廃止
5 国, 道制度に上乘せしている 超過負担額のあるもの	令和5年度予算から見直し
6 団体運営費など長期間継続して 補助しているもの	令和5年度予算から見直し

2 見直しの方向

- 令和5年度予算で廃止が可能なもの
- 廃止を前提に, 段階的に削減可能なもの
- 団体の内部努力により, 一部減額が可能なもの
- 補助期限の設定が可能なもの
- 委託あるいは融資制度等に移行が可能なもの
- 類似目的の補助金で統合が可能なもの
- 特別な理由で増額を必要とするもの

3 団体への指導

- 自主財源の増額(会員等の増員など)
- 団体の統合化, 組織化
- 補助金の終期設定(サンセット事業)とその周知